

第8号議案

第75回 日本学校農業クラブ全国大会
令和6年度 岩手大会における
クラブ員代表者会議の発表テーマについて

第1分科会	
第2分科会	
第3分科会	

単位クラブまたは連盟運営（日連・ブロック連盟・県連盟）に関する問題

第1分科会：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

第2分科会：内への働きかけに関すること（クラブ員一人一人へ、農業クラブの活性化等）

第3分科会：農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動とのかかわりに関すること

単位クラブまたは連盟運営（日連・ブロック連盟・県連盟）に関する問題

第1分科会：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

《北海道》

・「社旗・環境・技術・時代」の変化に柔軟に対応する能力とは何か

《東北北海道》

・プロジェクト活動における地域、企業、大学、研究機関等との連携はどのようにあるべきか。

《南北北海道》

・地域の人々が地域の農業の現状と課題に関心を持ってもらうために私達農業クラブ員はどのような活動ができるか

《青森》

・コロナ禍でどのように活動機会を確保しているか。

《岩手》

・地域の子供達と交流するために、クラブ員ができること。

・地域の大人達と交流するために、クラブ員ができること。

・農業クラブの活動を世界へ発信するためには、どのような方法があるか。

・農業高校の魅力を地域に伝えていくために、ICT機器をどのように活用していくべきか。

・コロナ感染状況を踏まえ多様なコミュニケーションの取り方が増える中で、農業高校の情報発信の仕方はどのようなものであるべきか。

・地域との連携を図りながら校内活動を外へアピールするにはどうしたらよいか。

《宮城》

・地域の方々に、農業クラブを知ってもらうためにどのような活動が必要か。

・コロナ禍で、減少した海外交流や海外の農業を学ぶための手段にはどのようなことができるか。

《秋田》

《山形》

・地域産業との連携した活発な農業クラブ活動の展開について

・地域資源を活用した持続的な農業クラブ活動とは

《福島》

・農業クラブ活動をPRするために何をするべきか。

《茨城》

《栃木》

- ・コロナ禍で地域の方々に知ってもらうためにはどのようにしたらよいか
- ・全国大会や関東大会に行かない人も全国のクラブ員とつながるためにはどのようにしたらよいか

《群馬》

- ・農業高校の魅力を伝える活動として、今後どのような工夫が必要か。
- ・農家の高齢化が進む中、継続的にクラブ員ができる連携活動について、どのような取り組みができるか。
- ・海外の農業高校生と交流するために、具体的にどのような手段が考えられるか。

《埼玉》

- ・コロナで中止になったイベントを復活させる

《千葉》

《東京》

- ・コロナでなくなったF F A等の海外交流をふやすための取組は何かがあるか。

《神奈川》

- ・地域の魅力を農業クラブから外部へ発信していくためにはどのような取り組みがあるか。

《山梨》

- ・私たちが普段学んでいることを活かして地域の方々と一緒に何かできることはあるか。
- ・農業高校のすばらしさを地域の方々に伝え、協力してもらうために何ができるのか。

《静岡》

- ・with コロナの状況で農業高校と地域が連携していくためにはどうすればよいか。
- ・SNS等が浸透した社会で、農業高校の活動や魅力を外部に上手に伝えるにはどうするか。

《新潟》

- ・農業高校（農業関連学科）の生徒と他の高校生（普通科や商業、工業など）と連携しどのような活動ができるか。
- ・農業高校と地域の方が連携をとることで、今後その地域にどのような影響をもたらすことができるか。

《長野》

《富山》

- ・SNS やポスター、チラシを使用し、活動を知ってもらうためにはどのようにすればよいか。
- ・地元の方と結びつきを強くできる活動を多くするためにはどうすればよいか。
- ・農業高校への入学者を増やすにはどうすればよいか。
- ・他県の農業高校の生徒とリモート交流をする場合、どのように進めればよいか。

- ・クラブ員一人ひとりが自覚をもって、意欲的に農業クラブ活動に取り組み、高齢者や小中学校、子供たちに農業の魅力を伝えるためにはどうすればよいか。

《石川》

- ・農業クラブ活動を継続的に外部に発信していくには、どのような方法があるか。
- ・農業高校で行っているプロジェクト学習の手法を他学科の学校に知ってもらうにはどうすればよいか。

《福井》

- ・地域と連携し、地域に根付いた農業作物、農業活動をさらに活性化させるにはどのような方法があるか。
- ・農業高校の魅力を中学生にアピールするためにはどのような方法があるか。

《愛知》

- ・地域や企業と連携し六次産業化を進めていくために農業クラブができることは何か。
- ・海外の農業クラブ員(FFA、FFK、FFT)との国際交流。
- ・高校生主体による食育、花育事業を地場産業との連携、出前事業の交流。
- ・各学校で取り組んでいるプロジェクト活動を効果的に発信する方法。
- ・インターネットを活用して海外の学生（農業高校生）との交流を図るための方法。
- ・SNSを利用した農業クラブ活動の発信。
- ・海外での農業に関する情報(機械化、雇用、栽培方法、ICT)を共有、活用するには。
- ・農業関連メーカー（クボタ、サカタのタネ）とのスマート農業の活用方法を探る。
- ・農業クラブ員が地域の課題を地域の方と解決するにはどのような取り組みをすればよいか。
- ・オンラインで全国の農業クラブ員と交流を持つにはどのような方法があるか。
- ・FFJOBとの交流（インターンシップ・先端農業視察）、意見交換を図ることでの活動の充実。
- ・農家民宿体験等を活用した農業研修の方法について。

《岐阜》

- ・農業高校の魅力や取組を地域の方々に知ってもらうためにどのような取組ができるか。
- ・コロナ禍で培った地域連携の方法も取り入れながら、地域をより活性化していくためには、単位クラブとしてどんな取組ができるか。
- ・コロナ禍においても工夫して活動できた農業クラブ活動を、今後地域連携や校外活動にどのように発展させていくか。
- ・コロナ渦でも取り組める農業クラブ活動を地域に知ってもらうために、具体的にどのようなことができるか。

《三重》

- ・小中学生に対して農業や農業高校の魅力をどのように発信すればよいか。
- ・農業高校への入学希望者を増やすにはどうすればよいか。
- ・地域との連携を深めるために農業クラブでできることは何か。

《滋賀》

- ・農業の格好良さを地域の人たちに知ってもらうために農業クラブ員は具体的にどのような活動を行えばよいか。
- ・農業クラブ活動を地域と連携して活発にするにはどうしたらよいか

《京都》

- ・農業のPR活動を高めるためにどんなことに取り組んでいるか
- ・地域の人と連携した活動を伝えるために取り組んでいることはなにか

《大阪》

- ・地域の課題や様々な形の資源を見出し、活用する方法を検討し、地域との連携を作り出すことを考える。

《兵庫》

- ・With（ウィズ）コロナ社会の「新しい生活様式」にあわせた地域連携をどのようにして農業クラブ活動に取り込んでいくか。また、感染対策を取りながら行える活動にはどのようなものがあるか。

《奈良》

- ・農業高校を目指す小・中学生を増やすにはどうすればよいか。

《和歌山》

- ・農業クラブの活動を地域にどう発信し、PRするためにできることは何か
- ・地域特産の農産物を守り、より発展させていくために、地域とともにできる取り組みにはどのようなことがあるか。

《鳥取》

- ・地域と連携していくために、農業クラブ活動をどのように進めていけばよいか。

《島根》

- ・農業クラブ員が農業高校の魅力を発信するためには地域とどのように連携をすればよいか

《岡山》

- ・学校のある地域以外との交流を行うためには、どのようなPRをしていくべきか。
- ・SNSを利用して農業高校の魅力を地域に伝えるにはどのようなコンテンツが有効か。

《広島》

- ・人間が生きていくために必要な農業の大切さを農業クラブ員として発信していくには
- ・農業クラブの魅力を伝えるためには、他校の事を知る為にはどうしたらよいかを知る為にはどうしたらよいか
- ・with コロナだからこそできる農業クラブ活動のPR方法

《山口》

- ・農業クラブの認知度を地域で上げるために取り組めることは何か。
- ・農業クラブ活動を通して地域との関わりを増やしていくにはどうすればよいか。
- ・農業が抱える課題に直接かかわっていく活動をするためにどんな観点を持つべきか。

《徳島》

《香川》

- ・ F F J の存在をより世間に広く知らせるためには、どのような取り組みや工夫が必要か。

《愛媛》

- ・ 未来の農業高校生となる、小学校や中学校との交流・連携を深めるために農業クラブがどのような活動を行っていきけるか。
- ・ 地域農業や地域社会の課題解決に向けた農業クラブ活動をどのようにしていくべきか。

《高知》

- ・ 外部との交流が難しい今、どのようにして地域と連携を図り、農業クラブ活動を充実させていくか。
- ・ 海外研修、県外研修などが中止になる中、クラブ員同士の交流をどのように活発化させるか。

《福岡》

- ・ 地域の人々が地域の農業の現状と課題に関心を持ってもらうために、農業クラブ員はどのような活動ができるだろうか。
- ・ 地域の方と協力して、農業・農業高校の魅力を伝えるためにはどのような活動方法があるか。

《佐賀》

- ・ 農業クラブの活動を外部へ知ってもらうためにはどのような活動を行うべきか。
- ・ 地域の企業と協力するにはどのようにすれば良いか。

《長崎》

- ・ 私達農業クラブ員の活動を世界に知ってもらうために高校生ができることは何か。
- ・ 地域に根ざし、必要とされる農業クラブの活動としてどのようなことができるか。
- ・ 地域と連携した農業クラブ活動には、どのような方法があるか。
- ・ 農業高校以外の学校との交流活動や行事には、どのようなものがあるか。
- ・ 農業クラブの活動内容を一般の方に知ってもらうには、どのようなPR方法や手段があるか。
- ・ 農業高校の魅力を体験できる小中学生向けのイベント等の取り組みにはどのようなものがあるか。

《熊本》

- ・ 農業クラブの存在や活動について、地域の方々や企業へ認知を高めていくために、どのような取り組みをすれば良いか。

《大分》

- ・ コロナ禍によって新たな方法で実施している地域連携や産・学・官連携を今後、どのように発展させていくか。

《宮崎》

- ・ 課題研究成果などを地域や地域の小中学校などに発表し、校内農業クラブ活動を知ってもらう機会を作ることが出来ないか。

《鹿児島》

- ・農業高校の魅力や取り組みをアピールするためにICTを活用してできることは何か。
- ・農業高校生にできる新しい地域連携事業にはどのような取り組みがあるか。

《沖縄》

- ・各校の生産物んぼ魅力をより多くの人に知ってもらうためには、どのような取組が必要か。
- ・農業クラブにしかできない地域との活動はどのようなものがあるか。

第2分科会

《北北海道》

- ・クラブ員の農業体験を深い学びに繋げる力とは何か

《東北海道》

- ・プロジェクト活動に関わる意識付けや課題意識を持たせて共有するためにはどのような工夫を行っていけばよいのか。

《南北海道》

- ・私たちクラブ員が農業クラブの活動に興味をもち、主体的に農業クラブ活動に関わって行くようにするためには、農業クラブ役員が果たす役割はどうあるべきか。

《青森》

- ・学校行事を運営する中で、どのようにクラブ員を巻き込んでいるか。

《岩手》

- ・農業に関心を持ち、プロジェクト活動を正しく進めていくために、クラブ員ができること。
- ・クラブ員が、農業クラブの歌をフルで歌えるようにするにはどうしたらよいか。
- ・農業クラブ員が、農業クラブ活動の魅力を理解し、意欲的に活動してくためには、どのような方法があるか。
- ・クラブ員一人ひとりが意欲的かつ探究的に農業クラブ活動に取り組むにはどのようにすればよいか。
- ・総合学科や専門学科でもできる農業クラブ員として成果や結果をもとにした、一人ひとりの意識を高めるためにはどうしたらよいか。

《宮城》

- ・農業後継者としての意識向上と農業への興味関心を深めるために、我々にできることは何か。

《秋田》

《山形》

- ・一年生から主体的に取り組める農業クラブ活動における工夫について
- ・ICT機器を活用した効率的な農業クラブの運営について

《福島》

- ・農ク活動の活性化に向け、他校での創意工夫をした取り組みを知るための方法について。

《茨城》

《栃木》

- ・コロナ禍でも農業クラブを活発にするにはどうするか
- ・クラブ役員以外の生徒がクラブ員としての自覚を持つためにはどうするか

《群馬》

- ・学校全体が農業クラブ活動に興味や関心をもって取り組むために、どのような活動が効果的か。
- ・県内の農業クラブ連盟をより活性化させるためには、どのような交流活動が必要か。
- ・農業クラブ員として生徒が自覚をもつためには、どのような行事や活動が考えられるか。

《埼玉》

- ・農業クラブの活動理解と役員を増やす為にはどのようにすればよいか

《千葉》

《東京》

- ・農業クラブの各大会への参加者を増やすために、どのような取組ができるか。

《神奈川》

- ・農業クラブ活動をクラブ員や先生方に知ってもらう（興味を持ってもらう）ためにはどのような活動をするべきか
- ・役員とクラブ員たちの温度差を埋めるためにはどのような活動が必要か。

《山梨》

- ・農業クラブの三大目標をさらに身に付けていくために何ができるか。
- ・三大目標を達成し、さらに活発に活動ができるようにするためにどう取り組んでいくか。

《静岡》

- ・農業高校性がSNSを利用して農業クラブ活動を発展させるためにはどうするか。
- ・生徒一人ひとりが主体的に環境調査に取り組むためにどうすればよいか。

《新潟》

- ・クラブ員の自覚を持たせる各校の取組みとして、どんなことが考えられるか。
- ・農業クラブの活動について生徒に知ってもらうために、どう働きかけるかべきか。

《長野》

《富山》

- ・みんなが農業クラブに関心をもつためにはどのような活動をすればよいか。（有名人を呼ぶ、YouTube、鍋をするなど）
- ・多くの農業クラブ員を巻き込み、親睦を深められるような行事やイベントはどのようなものがよいか。
- ・クラブ員としての意識を高める実践的な活動を行うにはどうすればよいか。
- ・クラブ員一人ひとりが日本の農業の未来のために、意欲的に農業クラブ活動に取り組むためにはどうすればよいか。

《石川》

- ・農業クラブ員一人一人がクラブ員としての自覚を持つためにはどうしていけばよいか。
- ・農業クラブ活動をクラブ員に理解してもらうためにはどうしていけばよいか。

《福井》

- ・SDGs を考えた農業クラブ活動をどのように取り組んでいけばよいか。

《愛知》

- ・職業高校と言われた本来の農業高校を取り戻すのにクラブ員としてできることは何か。
- ・主体的、対話的で深い学びを実践し成功している単位クラブと交流するには。
- ・後ろ向きで意欲のないクラブ員にやる気をもってもらう取り組みには何かがあるか。
- ・「農業クラブ」という名前を万人に受け入れやすいネームに変更するには。
- ・外部講師を活用し「社会性、指導性」がクラブ員すべてに身に付く効果的な実践方法は何かがあるか。
- ・執行部以外のクラブ員に当事者意識を持たせるのに画期的な策は何かがあるか。
- ・農業鑑定競技会を活用した農業科目の学習意欲の向上について。
- ・自校の農業クラブ活動をどのように発信していくか。
- ・農業クラブ活動費の効果的な配分と、自分たちで作成する農業クラブ予算。
- ・プロジェクト活動の活性化に向けて農業クラブ執行部ができることは何か。

《岐阜》

- ・農業クラブの活性化を図るため、クラブ員一人一人が主体的に取り組める活動は何か。
- ・クラブ員全員がやりがいを感じるために、学校全体で行う取組としてどのようなことができるか。
- ・クラブ員がSNSを活用し、主体的な農業クラブ活動を展開することはできないか。
- ・クラブ員が農業クラブ活動に興味をもち、農業クラブ行事に積極的に参加してもらうにはどうしたらよいか。

《三重》

- ・農業クラブを活性化させるためにはどうすればよいか。
- ・農業クラブ員としての自覚や意識を高めるためにはどうすればよいか。

《滋賀》

- ・農業クラブ活動をもっと知るために農業クラブ員一人一人がどのようなことを意識したらよいか。
- ・学校農業クラブ員の「農業」の意識を高めるにはどうしたらよいか。

《京都》

- ・農業クラブの効果的な魅力を発信する方法
- ・クラブ員の意識を高める取組の交流

《大阪》

- ・少子化社会においても農業従事者を育てるために、農業クラブにできることはないか考える。また、クラブ員の活動を活性化させ、地域と連携した活動ができないかを考える。

《兵庫》

農業クラブの活性化につながる具体的なアイデアを提案しあう。

《奈良》

- ・伝統的な農法に加えて、ICTなどの最新技術を取り入れた農業クラブ活動をどう実践していくか。

《和歌山》

- ・クラブ員一人一人が、農業クラブ員としての自覚を持つにはどのような働きかけをすればいいか。
- ・クラブ員が、積極的に活動に参加するためにどのような取り組みがあるか。

《鳥取》

- ・農業クラブ執行部員の後継者をどのように育てていくか。

《島根》

- ・農業クラブ員一人一人が「GAP・HACCP」についてPRするにはどのような活動をすればよいか

《岡山》

- ・クラブ員が農業クラブ活動に多く触れるためには、どのような取り組みをすればよいか。

《広島》

- ・農業高校の各学科において具体的に何を学びたいのか、そしてどのような活動をしたいのか
(目標を再確認し、取り組む姿勢を固めるために、クラブ員として見つめ直す)
- ・校内大会、県大会、全国大会で入賞をすることを目標に持って取り組んでいくためには
- ・校内農業クラブ活動を活性化するには
- ・他校の事を知る為にはどうしたらいいか
- ・農業クラブ員一人一人が、積極的に活動するためにできること
各種発表会・競技会のレベルアップ及びクオリティアップのために日々できること

《山口》

- ・農業クラブ員としての自覚をどのように意識づけできるか。
- ・農業クラブの活動を理解してもらい、一人ひとりが活動を楽しむためには、クラブ役員がどうしたらよいか。
- ・地域の方に注目してもらえるプロジェクト活動をするために何が必要か。

《徳島》

《香川》

- ・FFJの活動に興味、関心を持ってもらうためにはどうしたらよいか。

《愛媛》

- ・クラブ員一人一人が意欲をもって農業クラブ活動に参加するためにできることは何か。
- ・農業クラブ員の農ク活動への関心を高め、意欲的に活動に参加してもらうために何ができるか。
- ・農業クラブ員として自覚と誇りを持ち、主体的に農業クラブに取り組むためにどのようにしていくべきか。

《高知》

- ・現在おこなっている学習やプロジェクト活動をSDGsにつなげていくためには、
- ・行事の簡素化やリモート慣れしている中、様々な行事や取組をどこまで従来の形に戻していくか。

《福岡》

- ・クラブ員が興味を持ち、農業クラブの活動をしたいと思うためには、活動をどう変えていく必要があるか。
- ・農業クラブの活動をもっと楽しいものにするためには、農業クラブ員がどのように意識し取り組む必要があるか。

《佐賀》

- ・農業クラブの活動をクラブ員に周知するにはどのような方法があるか。
- ・農業クラブ活動を活性化させるために、どのような活動を行うか。

《長崎》

- ・農業クラブ員としての意識を高めるため、どのような取り組みや活動をすればよいか。
- ・全クラブ員で行う校内活動にはどのような取り組み方があるか。
- ・農業クラブの全国的な活動やブロックでの活動を各クラブ員にどのように広めるか。

《熊本》

- ・コロナ禍で校内大会の運営をはじめ、活動が制限されることが多くなり、携わる役員も限られるようになった印象がある。コロナ禍においても、クラブ員一人一人がやりがいを感じ、主体的に活動に参加するためには、どのような工夫が必要か。

《大分》

- ・一人一人が農業クラブ員としての自覚を持ち、主体的に農業クラブ活動に取り組むにはどのような取り組みが有効な手立てか。

《宮崎》

- ・コロナ禍になり、リモートで会議をする機会が増え、リモートで会議をすることが当たり前になってきた。このことを利用し、県内、ブロック内、全国の農業高校同士の意見交換会を気軽にリモートで行うことが出来ないか。

《鹿児島》

- ・クラブ員一人一人が楽しみながらやり甲斐を持てる活動にはどのようなものがあるか。
- ・各種競技会（運営や参加）に対する興味・関心を高めるためにはどのようにすればよいか。

《沖縄》

- ・クラブ員一人一人がもっと自分の学校に誇りを持てるようになるためには、どうすればよいか。
- ・農業クラブについて発表できる機会を増やすにはどうしたらよいか。
- ・学科で農業クラブとの結びつきを深めるためにイベントをやるのはどうか。

第3分科会

《北海道》

- ・「食育・木育・花育」の取り組みからどんな力が生まれるか

《東北北海道》

- ・ICTを活用した農業クラブ活動をどのように行っていくか。

《南北北海道》

- ・農業に直接携わる人びとだけでなく、すべての人間が持続可能な農業に関心を持つようにするためには、農業クラブ活動を通じて、地域へどのように情報を発信していくべきか。

《青森》

- ・各学校の取り組みで「農業」の色々な側面を問題視し、どのようにプロジェクト活動やコンテストへの応募を行っているか。

《岩手》

- ・一次産業を理解し、日本の食物自給率を高めるためにどうしたらよいか。
- ・ニュースから、農業の課題を考え、クラブ員としてやらなければならない使命とは何か。
- ・農業のとりまく問題について、農業クラブ員ができる活動は何か、また、どのような活動により解決へ導けるか。
- ・農業クラブ活動を通して、小中学生に農業に興味を持ってもらい、農業高校を盛り上げていくためにできることはなにか。
- ・長く続けられる農業を目指し、耕作放棄地の活用や持続可能な農業について高校生がより考えるためにはどうしたらよいか。
- ・SDGsと農業クラブを関連させ、学科の枠をこえた活動についてどのようにしたらよいか。

《宮城》

- ・農業をする人が減少していく問題に対して、農業クラブで何ができるか。
- ・農業クラブを少しでも多くの人に知ってもらうためには、どのようにしたらよいか。

《秋田》

《山形》

- ・これからの時代の農業経営者としての素質を農業クラブ活動でどのように育むか
- ・農業の諸課題に対し農業クラブがどのように関わっていけるか

《福島》

- ・若い世代が農業に興味を持ち、農業に携わるために、クラブ員に何ができるか

《茨城》

《栃木》

- ・今の農業の実態を知っていくうえで地域の農家の方々にどのような支援ができるのか

《群馬》

- ・日本の農業を支えるために、農業クラブ員として何ができるか。
- ・SDGsを達成するために、農業高校として具体的にどんな取り組みができるか。
- ・AIや作業の機械化が進化する中、高校でどのようなことが取り入れられるか。

《埼玉》

- ・SNSで日本全国、海外の農業クラブを交流をする

《千葉》

《東京》

- ・現在の環境問題、食料問題をSDGsの観点からどのようなことができるか。

《神奈川》

- ・農業に関心を持ってもらい、農業クラブの活動を通し第一次産業の後継者を増やすためにはどのような取り組みをするべきか。また、その形態や留意すべきことは何か。

《山梨》

- ・農業をおこなう人口が減少している中で私たちにできることは何か。
- ・農業就業人口が減少している中でどのようにして次の世代に農業に関わってもらおうか。

《静岡》

- ・SDGsの達成に向けて農業クラブでどのような啓蒙・活動が出来るか。

《新潟》

- ・農業クラブ員として、SDGsなど未来の農業のために何ができるか。
- ・農業高校の生徒が農業に関する仕事に関心を持つために何ができるか。

《長野》

《富山》

- ・農業高校の活動を地域や若い人たちに知ってもらうために、どのようなインターネットの活用方法が考えられるか。
- ・就農率を上げるために高校単位ではどんなことができるか。
- ・農業クラブとして小・中学生に農業の魅力や楽しさを伝えるための学校連携はどのようにすればよいか。
- ・日本の就農人口を増やし、食料自給率を上げるために私たち農業クラブ員は何ができるか。
- ・農業に興味関心をもってもらうための農業体験とはどのようなものがよいか。

《石川》

- ・海外情勢で左右される食料安全保障に対して、農業クラブ活動として何ができるか。
- ・人口減少が進む地方で地元を活性化させるために農業クラブ活動として何ができるか。

《福井》

- ・SNSを通じて農業高校の魅力を発信していくためにはどのような方法があるか。

《愛知》

- ・農業は儲かる、農業は楽しい、農業は命の源と素晴らしさをアピールする芸能人と関わるには。
- ・農家民宿、耕作放棄地の企画・起業家、農業関連産業への就職を目指すのに必要なバックアップ体制には。
- ・近未来に起こるとされる食糧難に対抗するための昆虫食、疑似肉などの生産・活用方法は。
- ・品質向上や付加価値をつけて販売する「もうかる農業」を実現させている事業家を招き農業高校の活性化に取り組むには。
- ・SDGsを学ぶ農業高校生として、連帯して何ができ、世の中に発信できるか。

《岐阜》

- ・小中学生や子どもたちに農業に興味をもってもらい、農業高校生を増やしていくためにクラブ員にできることは何か。
- ・農業従事者が減少し、若者だけでなく農業に取り組む全ての方々が貴重な存在となっている今日において、農業高校は何を求められており、そのためにどのような取組ができるか。
- ・農業の産業が抱える課題に対して解決に繋がるような仕組みや設備には何があり、将来の農業が抱える課題をどのように解決していくか。
- ・農業従事者が減少していく中で農業高校生ができることは何か。

《三重》

- ・SDGs達成に向けて農業クラブ活動として取り組めることにはどのようなものがあるか。
- ・農業従事者を増やすために農業クラブで取り組めることは何か。

《滋賀》

- ・ICT・AI化が進む現代で農業高校で新たな取り組みを行うために、農業クラブ員はどのような活動をしたら良いか。
- ・農業高校生がどのように農業学習に向き合い、社会に貢献するか。

《京都》

- ・農業高校だからできること
- ・農業の魅力を伝える取組

《大阪》

- ・現在、農業高校生が専門的な（農業に関する）仕事に就く人が少ない状況である。農業クラブを通じて地元や他地域での仕事（インターンシップ等）を経験や他府県の農業クラブ員との交流などを通して、農業により興味を持つことができないか検討する。

《兵庫》

- ・物価高によって厳しくなっているわが国の農業（農家）の状況について、農業高校と農家の連携で解決するために、農業クラブができる活動あるか。

《奈良》

- ・耕作放棄地に対して、農業クラブが連携できないか。

《和歌山》

- ・農業クラブ員として、小学生や中学生に農業に興味や関心を持ってもらえるためにできる活動

《鳥取》

- ・スマート農業や ICT 機器などを農業クラブの活動に、どのように取り入れていくことができるか。

《島根》

- ・持続可能な農業活動を展開するために私たち農業クラブ員は何をを考えて行動すればよいか

《岡山》

- ・新しい農業の担い手を確保するにはどうすればよいか。

《広島》

- ・これまで我が国で培われてきたことを、改めて探し究めるための取組を行うことで、農業の持続可能な発展につなげる

(先の見えない世界情勢の中で、できるだけ資材等を自国で賄えるようにならないといけない)

- ・農業従事者の高齢化と、担い手不足の問題に農業クラブ員としてどう取り組むか
- ・農業の未来を支えるために農業クラブ員としてどう行動していくか
- ・六次産業化に向けての取組について
- ・未来の農業を守るために、農業クラブ員ができること

《山口》

- ・就農者を増やしていくためには、どのようにしたら良いか。
- ・スマート農業を推進する上で、農業クラブとして取り組めることはどのようなことがあるか。
- ・農業後継者を増やすために、小中学生に行う農業体験はどのようなものがよいか。また、クラブ員ができることはなにか。

《徳島》

《香川》

- ・耕作放棄地の有効活用のために私たちクラブ員ができること。
- ・ウクライナの人たちを助けるために、私たちクラブ員ができること。

《愛媛》

- ・農業クラブがSDG sにおいて、どのような役割や活動ができるか。
- ・持続可能な農業や地域振興を実現するために、農業クラブ員にできることは何か。

《高知》

- ・スマート農業や IoP が後継者不足解消にどこまで効果をもたらせるか。
- ・私もやりたい！と思える農業って？

《福岡》

- ・農業の魅力を発信し、地域と連携してできるSDG sの取り組みはどのような活動があるか。
- ・持続可能な社会に向けて、農業クラブ員が主体となって幅広い世代にSDG sとそれに向けた活動を広めるためにはどう取り組むべきか。

《佐賀》

- ・SDGsの中の農業に関する目標を達成するために、農業クラブにできることはどのようなことがあるか。
- ・地域で活用されていない放棄地を農業クラブの活動で活用できる方法はあるか。

《長崎》

- ・SDGsに農業クラブとしてどう関わっていくか。
- ・地域の農業に携わっていく人材を育てるために、クラブ員としてどのような活動を行ったらよいか。
- ・各地域の農業に関する課題について農業クラブが取り組める活動はないか。
- ・農業の魅力を知ってもらうため、農業高校としてできることはないか。
- ・農業高校として就農者を増やすには、どのような取り組みができるか。
- ・さまざまな環境問題に対して、農業クラブとしてのどのようなアクションをとればよいか。

《熊本》

- ・子供たち（園児・小中学生）に農業の魅力を伝え、将来の農業従事者・農業後継者を育てていくために、農業高校生が取り組むべきことは何か。

《大分》

- ・SDGsにおける農業及び関連分野の目標を達成するために農業クラブ員として具体的にどのような活動ができるか。

《宮崎》

《鹿児島》

- ・農業従事者の高齢化が進む中で、若者（高校生）ができる取り組みにはどんなものがあるか。
- ・新しい農業の形（スマート農業や6次産業化など）を学ぶクラブ員が、学んだ知識や技術を活かすための取り組みにはどんなものがあるか。

《沖縄》

- ・農業従事者を増やすため、農業の魅力を知ってもらうためにはどうすればいいのか。
- ・農業クラブとしてSDGsとどのように関わっていくか。